私のロボット

天純　蔡

私のロボットは犬の形をしたロボットで、名前はクイールです。中学生の時、「盲導犬クイールのいっしょう」という映画を見たら、クイールという盲導犬がとても好きになって、そんなロボットがあるといいと思いました。クイールはかわいいだけでなく、視覚障害者を安全に誘導することもできます。視覚障害者が言ったことが理解できるし、彼らが行きたい場所も分かるし、いいガイドです。視覚障害者が道にまよったら、クイールのナビを使えば、道路標識をみえなくてもうまく動けます。そして、クイールは本当の犬のように視覚障害者を同伴できます。さびしい時、クイールと話たり遊びたりしたら、元気になれます。

今盲導犬の育てるための費用はとても高くて、時間もたくさんかかります。盲導犬は病気になったり、怪我をしたりする時、視覚障害者はどこにも行けません。でもロボットのクイールなら、その問題がなくて、いつも視覚障害者のそばにいられます。動物のアレルギーがあったら、本当の犬を飼えないが、クイールなら触っても大丈夫です。そして、レストランとか映画館とか犬を連れていけない場所にもロボットのクイールも入れます。いま皆は視覚障害者の生活を大切していくので、クイールのようなサービスロボットは社会でかつやくができると思います。クイールがあったら、視覚障害者の生活はもっと便利になれるので、視覚障害者の大切な友達になると思います。